

# 平成30年度 アンケート回答用紙

(さつきの里看護小規模ケアホーム)

以下の質問について 当てはまる番号を○で囲んでください。

(1) 職員は、ご家族の困っていること不安、求めていること等の話をよく聞いていますか？

- 1、よく聞いてくれる                      2、まあ聞いてくれる                      3、あまり聞いてくれない  
4、まったく聞いてくれない

(2) ケアホームでのご本人のご様子や健康状態、職員の異動などについて、ご家族にご連絡ができておりますか？

- 1、できている                                      2、まあできている                                      3、ほとんどない  
4、まったくない

(3) 職員は、ご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に、内容に関する話し合いをしていますか？

- 1、説明を受け、一緒に話し合っている。                                      2、説明は受けたが話し合っていない  
3、説明も話し合いもない

(4) 職員は、ご本人の思いや願い、要望などをわかってくれていると思いますか？

- 1、よく理解している                                      2、まあ理解している                                      3、理解していない  
4、わからない

(5) 職員は、ご家族やご本人のその時々状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか？

- 1、よく対応してくれる                                      2、まあ対応してくれる                                      3、あまり対応してくれない  
4、全く対応してくれない

(6) ケアホームを利用するようになって、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか？

- 1、よく見られる                                      2、ときどき見られる                                      3、ほとんど見られない  
4、わからない

(7) ご本人は、職員の支援などで、戸外の行きたいところへ出かけられていますか？

- 1、よく出かけている                                      2、ときどき出かけている                                      3、ほとんど出かけていない  
4、わからない

(8) ケアホームを利用されていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか？

- 1、全くない                                      2、あまりない                                      3、少しある  
4、大いにある

(9) ケアホームは、ご家族が気軽に訪ねて来られやすい雰囲気ですか？

- 1、大変行きやすい
- 2、まあ行きやすい
- 3、行き難い
- 4、とても行き難い

(10) ご家族から見て、職員は生き生きと働いているように見えますか？

- 1、すべての職員が生き生きしている
- 2、一部の職員のみ生き生きしている
- 3、生き生きしている職員はいない

(11) ご家族からみて ご本人は今のサービスに満足されていると思いますか？

- 1、満足していると思う
- 2、どちらともいえない
- 3、不満があると思う
- 4、わからない

(12) ご家族は、今のサービスに満足されていますか？

- 1、大変満足している
- 2、まあ満足している
- 3、すこし不満がある
- 4、大いに不満がある

(13) その他、なんでもご意見を記入してください。

お忙しいところ 大変ありがとうございました。封筒に入れて、職員にお渡しください。

平成30年度 看護小規模ケアホーム アンケートの集計

H31.1

H30		1.よく...			2.まあ...			3.あまり..			4.まったくわからない			回答なし		
H29		H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30
5人/18人(19人)中 回収、回収率83.3%																
6人/19人(20人)中 回収、回収率84.2%																
H28		15人/19人中 回収、回収率79.0%														
(1)	職員は、ご家族の困っていること不安、求めていること等の話をよく聞いていますか？	13	13	14	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)	ケアホームでのご本人の様子や健康状態、職員の異動などについて、ご家族にご連絡ができておりますか？	9	14	15	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)	職員は、ご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に、内容に関する話し合いをしていますか？	13	15	13	1	1	1	0	0	0			0	0	0	1
(4)	職員は、ご本人の思いや願い、要望などをわかってくださると思いますか？	10	9	12	5	7	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0
(5)	職員は、ご家族やご本人のその時々状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか？	13	14	12	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6)	ケアホームを利用するようになって、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるように	8	8	8	6	7	6	1	0	0	0	1	1	0	0	0
(7)	ご本人は、職員の支援などで、戸外の行きたいところへ出かけられていますか？	6	5	7	4	7	6	2	0	2	2	4	0	1	0	0
(8)	ケアホームを利用されていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか？	7	4	10	6	11	3	1	1	2	1	0	0	0	0	0
(9)	ケアホームは、ご家族が気軽に訪ねて来られやすい雰囲気ですか？	9	8	12	3	7	2	0	0	0	0	0	0	3	1	0
(10)	ご家族から見て、職員は生き生きと働いているように見えますか？	13	14	14	2	1	1	0	0	0			0	0	1	0
(11)	ご家族からみて ご本人は今のサービスに満足されていると思いますか？	10	11	12	3	2	1	1	0	1	1	3	0	0	0	0
(12)	ご家族は、今のサービスに満足されていますか？	8	10	10	6	6	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0
(13)	その他、なんでもご意見を記入してください。	<p>• 細やかに日中の様子を手帳に書いてくださるので、安心できます。ありがとうございます。</p> <p>• いつも声掛けを私にして下さりありがたく思っています。</p> <p>• 本人も元気でお世話になっています。家族は本当に、感謝しております。職員の皆様は明るく、はきはきしていて、とても元気ですね。おかげで1年を終えることができました。ありがとうございます。来年もよろしくお願いいたします。</p> <p>• みなさんが大変良くしてくれると感謝の言葉が出ます（6番）</p> <p>• いつもありがとうございます。親切にいただき、感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。</p>														

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	医療法人 みわ記念病院	事業所名	さつきの里看護小規模ケアホーム
所在地	(〒719 -0106 ) 岡山県浅口市金光町地頭下284-1		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

住み慣れた地域で、「認知症になっても」「療養をしながらでも」「最期を家族と迎えることも」、さつきの里の目標である「おもてなしの心をもって」を掲げ、職員一丸となって支援しています。

ケアホームでは、特に、環境整備に力を入れています。「居心地のいい環境を提供しよう」ということで、ハード面はもちろん、職員のあいさつ、雰囲気、静かな空間など利用者様が落ち着いて過ごせるように 日々試行錯誤しながらサービスの提供をしています。肺炎・風邪予防の為に、「うがい(紅茶)、手洗い、口腔ケア」は継続的に行っています。

看護小規模多機能型居宅介護ならではの柔軟な対応として、急な「泊り」、体調に合わせた「通い」、そして訪問看護や訪問介護で健康な生活を維持できるよう支援しています。「通い」では、季節の行事やドライブなど、利用者様と一緒に、笑い、楽しんで、「訪問介護」を増やし、在宅生活のリズムの調整を図っています。「泊り」の方は、看護職員がオンコール体制を取って、利用者様にも、働く介護職員にも、安心して過ごせる夜間を提供させていただいています。

年に一度、さつきの里全体と母体の病院からの応援も得て、「さつきの里夏まつり」を開催しています。地域に根付いた祭りとなり、地域貢献の一貫になっています。前の畑では、利用者様と一緒に野菜をつくり、食事の一品として利用し、ご近所やご家族に季節折々の果物や野菜をいただき、地産地消の恩恵を受けています。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019 年 2 月 23 日	従業者等自己評価 実施人数	( 17 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 3 月 23 日	出席人数（合計）	( 7 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員（ 2 人） <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員（ 1 人） <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員（ 〃 人） <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者（ 3 人） <input type="checkbox"/> 利用者（ 〃 人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（ 〃 人） <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者（ 1 人） <input type="checkbox"/> その他（ 〃 人）			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>看護小規模多機能型居宅介護サービスとして、地域で唯一の看護サービスができる事業所として、更に住み慣れた家で在宅での療養をしながら続けられるように、職員のスキルアップができるように研鑽を積んでいく。</p> <p>病院や施設から、在宅復帰ができるように、連携を取りながら、介護・看護サービスで、中心は「通い」であるが、訪問も徐々に増えてきているので、柔軟に組み合わせながら、提供していく。</p>	<p>カンファレンスやミーティングで、情報共有を行い、利用者・家族の様々のニーズに、早急に対応していった。体調の変化や、家族の入院など、通いサービスから泊まりサービスもいれ柔軟に対応。「住み慣れた家で見ていきたい」という思いに寄り添い、経済的負担も考慮しながらの組み合わせも対応した。</p> <p>家族が受診に付き添えない場合、対応して、重度化しないように早期治療へつなげている。受診前に病医院へ情報を伝えスムーズな診察が出来るようにした。</p> <p>研修目標の外部の研修参加 1 回/年、一部のスタッフのみ参加で、グループ内研修にとどまっているスタッフが多い。</p> <p>地域の方とのかかわりは、途切れないように、近所の方に様子</p>	<p>医療的なケアについては、夜間の対応が介護職では不十分な為、常時ケアが必要な方の受入はできないが、単発での利用については、家族と協力しながらケアが出来ている。認知症の独居の方の健康管理には、看護小規模多機能型居宅介護のサービスで、効果的に提供できている。</p> <p>ここ一年で、入院された5人中3人は、在宅復帰できている。今年度は、老健から退所される方が多く、3名の方は、在宅開始され、その後、再入所された。退院から、利用を始めた方は、しばらくホームに滞在して利用し、徐々に在宅時間を増やし介護・看護サービスで在宅生活を継続できている。</p> <p>小多機のころから、長く利用されていた方が、ずっと機能維持し</p>	<p>・職員のスキルアップのための研鑽の具体的な取組が明確でない。(改善計画が具体的な取組に反映されているか?)利用者等の状況により「通い」「訪問」の柔軟な対応ができていると思う。</p> <p>・利用者とその家族のさまざまな状況、要望に応じられるようにという意識付けがされていて取組がなされていると思います。</p> <p>・事業所の特徴を生かしたサービス・計画がなされていて、継続してください。</p>

			を伺いながら支援をした方もいる。	た状態であったが、自宅で急死された。住み慣れた環境で、関わる人も同じで最期まで自宅で過ごすことができた。	
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	看護職員と介護職員の情報共有、看護職員からの介護職への指導・助言で、細やかな予測の下、サービス提供を行う。 職員の働きやすい職場を作り、職員確保をするとともに、スキルアップのための研修をする。それが、ひいては利用者様の為に安心して安全な在宅生活へむすび付けられるようにする。 緊急時・災害マニュアルは、関係機関の助言をいただきながら、作成してみ、訓練と共に見直しをしながら、現実のものへステップアップできるようにしていく。	グループ内で認知症についての勉強会を開催。半年かけて事例をまとめ、ディスカッションをする場を作り、多職種で検討し、家族の介護負担に寄り添い、自宅での生活を続けるための方策を検討した。 災害マニュアルは作成中だが、避難訓練を年に2回(1回は消防署員立会・指導)のなかで、災害時の想定や、消防署員にアドバイスを受けた。交通安全意識を高めるため、研修やドライブレコーダー装着。交通安全の標語を唱和、喚起していった。 利用者の疾患について、自己学習のための資料提供や、リスクについて説明を看護職よりしている。	認知症の方への対応については、グループ内で研鑽を積み、住み慣れた家で少しでも長く暮らしていけるように支援させていただいている。 医療的ケアの研修は、未実施のため、介護職員によるサービス提供に繋がっていない。 緊急災害マニュアルについては訓練を実施しながら、徐々に具体策を導き出している。 大きな交通事故はなく、安全な送迎、訪問ができています。今期、車いす車輜(スローパー、スマートアシスト付)を導入し、より安全な送迎を目指している。1か所危険箇所があるが、市や地域に働きかけを家族からいただき、運営推進会議でも話題としたが、なかなか進まない状況である。	・災害マニュアルの早急な作成を望む。 ・今後、市の地域防災計画が見直される予定であるため、国・県・市の動向に注視する必要があります(国交省HPに土砂にかかる避難確保計画の)ひな型があるので、参考にしてみてください。 ・市内で自主防災組織が12か所立ち上がった。 ・職員の確保に困難があると思いますが、スキルアップと他職種等との連携をお願いします。  ・職員のスキルアップと協力、コミュニケーションで利用者の要望に応えてください。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	利用者様・家族様を取り巻く、多職種・多機関との連携を行い、計画に反映できるように、関わっていく。	看護職・介護職そして、同グループのOTの意見などともに計画した。看護サービスの利用の方以外にも、受診前には、主治医に1か月の様子をお伝えし、薬の調整や今後の受診方法など、連絡・報告をした。 連絡ノートの記事を受診時に医師に診ていただくようにしている。	リハビリ計画はセラピストのアドバイスをいただいて作成・実施・評価しているため、機能維持の訓練ができた。 主治医への受診前の報告は、家族では、わかりにくい事や、変化を伝えることを継続し、今後の治療や薬の対応などに役立っている。受診後の情報は、病院や家族から、確実に聴き、次回ま	・引き続き多機関・多職種との連携に努めてください。 ・利用者家族では知らないことやできないことを助けて他機関のりようも薦めてください。 ・一事業所で多様なニーズにこたえるという利点を生かすと同時に他機関・他職種の利点をも利用する連携をお願いします。

				での対応をしている。	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	<p>地域との交流を職員も積極的に持つことで、利用者様・家族様の地域でのかかわりが増えるようにしていく。</p> <p>地域の圏域会議には、管理者・ケアマネ以外にも積極的に参加し、地域の現状を職員皆が実感して、利用している方々の現状に照らし、何が必要で、何ができるのかを検討し、介護計画にも盛り込みサービス提供へつなげる。</p> <p>情報発信も積極的に行い、地域包括ケアシステムの中のサービスとして、利用していただきやすい環境をPRしていく。</p>	<p>シルバー人材センター、民生委員、地域の方々と利用者を取り巻く方々との連絡・調整圏域地域ケア会議に一般職員も出席し、各団体の方との顔つなぎを行った。</p> <p>グループ研修として、地域包括支援センターの方を講師にお招きし、「地域包括ケア」についての勉強会を行った。</p> <p>お便りは、各方面に持参し、おかせていただいている。</p>	<p>地域とのかかわりの中で、サロンへの参加や、地域での役割ができてきている方もいる。</p> <p>ホームページのパンフレットを自らプリントして、見学に来られる方があり、介護をされている方の年齢層は、ネット情報も活用されていると感じた。ホームページにブログ欄を設け、行事や勉強会など、更新して啓蒙活動に役立っている。</p> <p>地域包括の方との勉強会で、地域包括ケアの一員として、関わろうとする職員意識が高まってきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを利用した情報発信は有効な手段だと思う。</li> <li>・地域において支え合うネットワークづくりが年々広がりがつあります。</li> <li>・地域との連携を考えた取り組みも進めておられます。</li> <li>・今後も定期サロン・夏祭り等への出席をお願いします。</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42~44)	<p>利用者様・家族様の意思に寄り添い、住み慣れた家で在宅生活がおくれるように、コミュニケーションを取って行く。</p> <p>高齢者の終末期の不安は、突然にやってくるかもしれないことに、しっかり目を向け、どのような生活を送りたいか、計画の見直し時等に話し合っていく、対応ができるようにしていく。</p>	<p>ご家族と密に連絡を取り、利用者の思いに寄せ、居心地のよい場を提供した。</p> <p>四季折々の行事や、ドライブなど企画・開催。ご家族と一緒に楽しみになるように、その都度お知らせを配布した。</p>	<p>利用者様の2/3以上の方が、体調を崩されずに、在宅生活がおくれている。今年度の傾向として、老人保健施設を行走来される方が増えた。介護される方の高齢化で、家族負担が大きく、在宅生活を送るのが、困難な事例があった。施設と行き来しながら、少しの間でも「家に帰る」という思いには寄り添えたと思う。</p> <p>地域のかかわりが切れないうちに、周りの方とお話を一緒にしていくうち、周りの方から情報をいただけるようになってきた。</p> <p>終末期のお話は、なかなかしにくいですが、確認書を基にお話する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者等の生活環境に応じた対応が大事だと思う。看取り支援については、積極的にかかわっていく必要性を感じる。</li> <li>・満足度アンケート結果より、昨年よりも利用者・家族へ寄り添ったサービス提供が行えているように感じた。</li> <li>アンケートをするなど利用者・家族の意思をくみ取っていると思う。</li> </ul>	

		きっかけになっている。	
--	--	-------------	--

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>医療的なケアが必要な方のケアについては、夜間の対応が介護職では不十分な為、常時ケアが必要な方の受入はできないが、利用については、家族と協力しながらケアが来ている。認知症の独居の方の健康管理には、看護小規模多機能型居宅介護のサービスで、利用者・家族のニーズに合わせ、効果的に提供できている。外部研修の参加が悪い。研修での新しい取り組みがいまひとつ進んでいない。職員の補充・働きやすさをもっと取り入れる必要がある。この一年で、入院された5人中3人は、在宅復帰できている。今年度は、老健から退所される方が多く、3名の方は、在宅開始され、その後、再入所された。</p> <p>退院から、利用を始めた方は、しばらくホームに滞在して利用し、徐々に在宅時間を増やし介護・看護サービスで在宅生活を継続できている。</p> <p>多機のころから、長く利用されていた方が、ずっと機能維持した状態であったが、自宅で急死された。住み慣れた環境で、関わる人も同じで最期まで自宅で過ごすことができた。</p>	<p>看護小規模多機能型居宅介護サービスとして、地域で唯一の看護サービスができる事業所として、更に住み慣れた家で在宅での療養をしながら続けられるように、利用者・家族のニーズに合わせ対応していく。</p> <p>職員のスキルアップができるように、年1回の外部研修、内部研修2回以上の参加を推奨していく。</p> <p>365日24時間対応の事業所なので、職員も働きやすい職場づくりをし、コミュニケーションを図り職員が元気で明るく、利用者・家族にかかわれるようにする。</p> <p>病院や施設から、在宅復帰ができるように、入院中から連携を取りながら、次回受診には、病医院へ在宅の様子を報告し、病状の安定した生活を送れるよう介護・看護サービス提供する。中心は「通い」であるが、訪問介護・看護を効果的に取り入れて、柔軟に組み合わせながら、提供していく。</p>



<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>利用者・家族のニーズについて、早期に情報共有し、柔軟に対応できている。医療ニーズのある方については、介護職員と看護職員が連携して、異常時や緊急時には素早い対応を出来るようにしている。入院、入所時には、ケアマネや看護職からの情報提供し、入院後の生活が退院しての在宅生活につながるようにしている。入所時には、次回あるかもしれない在宅生活の為や、入所してからの生活が穏やかにできるように連携をしている。 重度化していった場合や急変時の対応については、折に触れ家族の思いや病院での対応について事前に聞いている。 自立支援が出来るように、見守り、声掛けをしながらしている。 説明や指導については、理解できるようにわかりやすい言葉でしている。</p>	<p>看護職員と介護職員の情報共有、看護職員からの介護職への指導・助言で、細やかな予測の下、サービス提供を行う。 職員の働きやすい職場のづくりのため、職員確保をするとともに、スキルアップのための研修をする。それが、ひいては利用者様の為に安心して安全な在宅生活へむすび付けられるようにする。 緊急時・災害マニュアルは、関係機関の助言をいただきながら、自主防災組合、市の災害マニュアルなども参考にしながら、作成する。訓練も共に見直しをしながら、現実のものへステップアップできるようにしていく。</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>利用当初、体調の変化、介護保険更新等の時に、かかりつけ医から意見を聞いたり、退院時などはリハビリスタッフから、リハビリ計画のアドバイスを受けたりして、多職種・多機関との連携を取って、ケアプランに反映している。 運営推進会議で、情報提供・アドバイスをいただき、サービスに繋がっている。</p>	<p>利用者様・家族様を取り巻く、多職種・多機関との連携を行い、計画に反映できるように、関わっていく。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>独居や高齢者世帯の方が多いため、地域の方の見守りや声掛けが在宅生活の頼りになっている方もいる。市内の圏域会議や夏まつり祭りなどで、地域の方との交流を増やせた。地域の方との生の声を伺って、何が必要なのか、何が出来るかなど考える機会もあった。ホームページや広報誌で情報発信をして、当事業所の取り組みや事業所を知っていただくことを積極的に取り組んだ。しかし、高齢者の方がホームページを見る機会も少ないため、他の方法での啓発が必要である。 現在看取り支援はないが、体制が万全とまではいかないが、受け入れは出来るようする。</p>	<p>地域との交流を職員も積極的に持つことで、利用者様・家族様の地域でのかかわりが増えるようにしていく。 地域の圏域会議には、管理者・ケアマネ以外にも積極的に参加し、地域の現状を職員皆が実感して、利用している方々の現状に照らし、何が必要で、何が出来るのかを検討し、介護計画にも盛り込みサービス提供へつなげる。 情報発信も積極的に行い、地域包括ケアシステムの中のサービスとして、利用していただきやすい環境を地域のサロンや夏祭りやキャラバンメイト活動など通してPRしていく。</p>

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>利用者様の2/3以上の方が、体調を崩されずに、在宅生活がおこなわれている。今年度の傾向として、老人保健施設を往来される方が増えた。介護される方の高齢化で、家族負担が大きく、在宅生活を送るのが、困難な事例があった。施設と往来しながら、少しの間でも「家に帰る」という思いには寄り添えたと考える。 地域のかかわりが切れないように、周りの方とのお話を一緒にしていくうち、周りの方から情報をいただけるようになってきた。 終末期のお話は、なかなかしにくいですが、確認書を基にお話しするきっかけになっている。</p>	<p>利用者様・家族様の意思に寄り添い、住み慣れた家で在宅生活がおこなわれるように、コミュニケーションを取って行く。 高齢者の終末期の不安は、突然にやってくるかもしれないことに、しっかり目を向け、どのような生活を送りたいか、計画の見直し時等に話し合っていき、対応ができるようにしていく。</p>
---------------------------------	--	---

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
<b>Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにするとともに②在宅での看取りの支援についても求められる。</li> <li>・①～⑤がそれか。少し硬い表現。</li> <li>・①.②.④については。職員の方の精神的負担が増えすぎないように職場の議論を継続いただけたらと思う。</li> <li>私達民生委員もどこまで民生として関わるか模索を続けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
	<b>[具体的な状況・取組内容]</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の理念ではあるが、そこから①～⑤の内容を読み解くには難しい。</li> <li>・訪問看護でインスリンの施注や急な利用にも対応し、家族負担の軽減を図っている。</li> <li>・理念を書いた紙をみえる所に貼り、いつでも誰でも見ることができる。理念に沿って実践できている。</li> <li>・訪看等で対応しながら、家族の負担軽減し、在宅生活ができていると思われる。生活機能</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		<p>維持できている方もいれば、回復が困難な方もいる。地域包括ケアへの貢献なかなか難しいが、運営推進会議や夏祭りのできるだけのことのできている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけご家族の意向に添える対応ができています。</li> <li>・常に提供できる体制を整えるなどの対応をしている。</li> <li>・家族負担軽減のため、服薬訪問、弁当配達の手配をしている。</li> <li>・負担軽減は通い・泊りなど急な対応している。</li> <li>・②については、今まで行ったことがなく、明確な理念が掲げられていない。</li> <li>・生活機能の維持回復の支援、家族への指導。相談、急な通いや泊りの対応等している。</li> </ul>				<p>・複合型介護という貴施設の特徴は地域に喜ばれ安心を与えていらっしゃると感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤の地域包括ケアシステムはその地域に合った生きたシステムが2025年を目処に構築することが求められています。</li> <li>・「個別ケア会議」「地域ケア会議」等での実体験に基づくご発言で生きたシステム構築に貢献ください。</li> <li>・利用者や家族に寄り添って支えていく気持ちが看られ、よいと思います。</li> </ul>	
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				<p>・カンファレンスを通じて全職員に理念に沿った取り組みをお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月サービス利用者の状況把握が職員間で行われており、課題検討もされ、個々に合ったサービス提供ができています。</li> <li>・皆さんが生き生きとして接しておられるのが感じられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとの目標の設定だけでなく中長期的な計画を策定し、振り返りが大切だと思う。</li> <li>・内部研修はもちろん外部研修等にも積極的に参加できています。</li> <li>・職員の人それぞれどのような目標をもっておられるかできれば聞かせてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数の確保により、積極的に法人外の研修への参加をお願いする。</li> <li>・外部研修は担当業務の視点を変えてみる手助けとなり、良い刺激となると考えます。受講後、内部紹介の場を設けられたら、より有益と思う。</li> <li>・3に同じ。引き続き地域間の他職種交流を図り自己研鑽を務めてください。</li> <li>・研修や講習の結果を他の人に伝えることで、より自分のもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
						にできると思います。	
						る。 ・適時講習会開催、フィードバック等を行えている。 ・もう少し参加したい。 ・研修を受けレポートを提出している。	
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				・利用者等の状況変化に応じて随時カンファレンスを行い、情報共有することが大事だと思う。 ・毎月スタッフミーティングにて勉強会が行われています。とくに年度替わり時や職員の異動時には情報共有を図ってください。 ・情報共有の時間を十分とって記録もしておられてよいと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提		○			・議事録の回覧だけでなく、話し合う機会を設けたらどうか。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・議事録にて職員全員把握できている。 ・運営推進会議の議事録を回覧し、助言をサービス提供に反映させている。				・助言等に対し二か月後の運営推進会議にて、その後の取り組み状況等の報告ができています。 ・会議に家族の方の出席を薦めてはいかがですか。	を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			・有給休暇が取得できていない反面、希望すれば家族の体調不良等で休暇が取得できる？ 外国人、障害者や高齢者も働き手として確保することで職員を守ることはできないか。 ・働き方改革「年5日有給休暇の取得」が義務付けられる。 ・働き方改革関連法に関し、昨年労基法が改正されたため、職員の意欲・能力を存分に発揮できる職場環境を作ってください。 ・職員のみなさんが提案や希望を申し出しやすい状況が感じられます。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・労働時間の優遇 ・個別の対応に相談優遇。 ・希望時間の配慮がある。希望休みも申し出により、取ることができる。 ・介助方法で不安なことがあれば、聞ける。 ・気にかけて下さっておりすぐに相談できる。子供がいるけど体調不良等休みを配慮あり。 ・家庭の事情等や体調等を考慮して労働時間を配慮されている。 ・仕事と生活の調和が保たれている。 ・法人内、外部の研修に参加することで、能力向上につながっている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・職員数が少なく毎日バタバタしている気がする。時間に追われ有給休暇が取得できない状況の常勤職員は感じている。					
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的な情報だけでなく、利用者本人の主観的な情報を共有することが大事だと思う。</li> <li>・生産工場でもそうでしたが、夜勤の方から日勤の方への情報伝達が特に大切と思っております。その意味からも朝の申し送りで迅速に把握という状況は素晴らしいと思う。</li> <li>・週間利用一覧表が作成されており、職員間で指示事項が共有されています。</li> <li>・利用者について担当者を決めておられよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間における緊急時の対応を明確にしておく必要がある。</li> <li>・最近「想定外」を想定せよ!失敗学からの提言」畑村洋太郎NHK出版を読みました。危機管理面での指摘が多くありました。ヒヤリハットもマンネリ化させないことが重要と感じました。</li> <li>・事故・ヒヤリハットの報告がされています。同じ事例の発生しないように引き続き改善策を講じてください。</li> <li>・ひとりで対応されること（訪問時）が多いとのことですが、複数の人ができるよう進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</li> <li>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</li> </ul>
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続でき		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応について、明文化することで、災害マニュアルが策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	るよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・台風等で家族の訪問が困難な場合の臨時的通い泊りの受け入れ、独居の方の訪問等を行い、職員間や家族とも情報共有できている。 ・緊急時の連絡先リストの作成はされているが、災害時の体制としては、マニュアル化されたものはない。 ・火災などは、避難訓練・消火器訓練を行い流れの把握している。・避難訓練で利用者と一緒にできている。 ・緊急時マニュアル。 ・家が安全な場合は家に早く帰宅するがよいときには、早めに送迎するなどして、個々の対応している。				定できると思います。 ・職員の方々ご自身の安全をまず第一に考えて行動してください。 ・定期的避難訓練が行われています。災害時マニュアルについては、今後し地域防災計画が見直される予定です。国・県・市の動向に注視する必要があります。 ・災害時等の対応も積極的に行って、おられると思う。	評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			・家族の思いや行動を大切にすることは大事ですが、十分なコミュニケーションをとることが必要と考えます。 ・利用者や家族の状況をよく把握されていると思う。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		為、なかなかこちらのアドバイスが受け入れられない場合がある。					らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主観的な情報は、介護職がより取得していると思われるが、十分にその結果を共有して対応してほしい。</li> <li>・意見交換や情報の共有がよくできているようです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常のなかで利用者等の考えを把握して、計画に盛り込んでほしい。</li> <li>・利用者本人と家族の考えが一致しない場合、基本は本人の気持ちを第一にしてほしい。</li> <li>・常に利用者の家族との連携を図るとともに利用者とその家族との交流等の機会を確保する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や利用者の考えを尊重した計画がされている。</li> </ul>				<p>よう努めてください。</p> <p>家族会や利用者家族向けの満足度アンケートも実施しており、昨年度に比べ、本人の思いや願い・要望などをわかってくれる職員が多くなっているとの高評価を得ていることはすばらしい。</p> <p>・利用者や家族の満足度も高くよいと思う。</p>	
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			<p>・一定程度の期間における維持回復の目標や計画が策定されているか。</p> <p>・「できること」「できないこと」「『すること』『しないこと』出来るのに「していないこと」「しないこと」あるのでは？</p> <p>本人の意欲、行動の目的</p> <p>・利用者の心身の状況に資するように適切な配慮に努めてください。</p> <p>・機能訓練等それぞれの能力に応じた対応をされています。</p>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予後予測を踏まえ、関係機関との連携が大事だと思う。</li> <li>・ 利用者各人の状況を表にまとめた運営推進会議資料はわかりやすく、素晴らしいと思う。</li> <li>・ ケース検討会にて状況変化の予測をしながら、週間一覧表が作成され情報共有が図れています。</li> <li>・ 利用者の状態をよく把握されておりよいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者個々の状況を継続的に把握できていることで、的確な対応に繋がっているのと思っています。</li> <li>・ 漫然かつ画一的にならないよう継続的なアセスメントが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・担当の職員がケアの留意点を変更して対応している。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				<p>・独居者の生活状況の把握は難しいと思うが、継続的な訪問により変化を感じ取ってほしい。</p> <p>・毎回、会議で報告を受けていますが、通い・泊り・訪問バランスがとてもいいと思っています。利用者本人は自宅で過ごすことを希望していると思うので、少しでも実現できるよう支援してほしいと思います。</p> <p>・ひとりひとりの状態に応じた計画や提案をされています。</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			<p>・主治医との連携を図り、適切な情報共有をお願いする。</p> <p>・利用者の健康管理を適切に行うためにも、主治医との密接な連携に努めてください。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医や地域の方との共有はできている（一部ではあるが）</li> <li>・主治医に情報を伝えて指示を受けている。</li> <li>・母体法人の MSW とは月に一度情報交換をし、情報共有ができています。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携を進めてください。</li> </ul>	
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間には看護職が不在のため、介護職への十分な情報提供をお願いします。</li> <li>・柔軟な人員配置により、サービスの一元管理が可能となります。</li> <li>・協力関係ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職、看護職のそれぞれの専門的な見地を理解するこ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・食事介助の仕方等、介護職から看護職に対して、危険だと感じていても言えない状況があったが、管理者から説明。理解を得られるように話をしていた。 ・毎朝の申し送りや毎月のミーティングで情報共有し対応策等を話し合おうことができる。 ・医療に関する不明点を看護職に教えてもらうことがある。				とが重要だと思う。 ・利用者の心身の状況に応じた二者間の連携が必要 ②看護職から介護職への情報提供および提案	度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				・職場の雰囲気や運営推進会議の資料からも情報共有が図られているように思われる。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・アンケートもされて、要望の把握に努めておられます。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・見学の際の説明や、プランの説明・日常生活のアドバイス時等難しい言葉は使わないようにわかりやすい説明を心掛けている。 ・見学の時、契約の時、プランの説明時など、折に触れ、趣旨や特徴やメリット・デメリットなど説明をしている。 ・毎月カレンダーを作成しているので、わかりやすい（家族も利用者も介護職も）					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・利用者が理解できることが大事なので、現状のようにわかりやすい言葉での説明をお願いします。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		・難しい言葉は遣わないようにしている。（文面も発する言葉も） ・ケアマネが作成している記録を見ておく。 ・カルテ内の留意点を見て、一人ひとり対応介護している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家		○			・利用者等が理解できるまで継続して説明することは大事だと	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	<p>族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている</p>	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護・訪問介護でできること、できないことなどわかりやすく説明するように心掛けている。</li> <li>・家族が行うケアについては。家族に説明・指導を行って、利用者に理解してもらうまで、ゆっくり説明している。</li> <li>・看護師が理解されるまで、訪問し指導できている。</li> </ul>				<p>思う。</p>	
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	<p>○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している</p>		○			<p>・在宅療養患者への対応が期待されている施設としてその方向です。重度化への対応も増えると思いますが、よろしく願います。</p> <p>・難しき困難を伴うこともあると思うが適切で丁寧な助言に努めてもらいたい。</p> <p>・コミュニケーションを大切にしているとのことによいと思います。</p>	<p>✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</p>
26	<p>○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、</p>		○			<p>・状況の変化に応じて、速やかに在宅生活の継続の可否</p>	<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足	
		よくできて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い			
	その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・どのようなリスクが考えられるか、アドバイス等随時家族・利用者と話そうにしている。 ・ケアマネが月一回の訪問時に話し合っている。				や対応をお願いします。 ・ひとりひとりの状態をよく知っておられ、提案等も十分されています。	と共有」について、充足度を評価します	
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・現在は終末期の方はいない。	・終末期ケアの方針や記録はどうなっていますか。 ・成年後見制度も考慮することが必要かもしれません。 ・29年度に様式を整備されたと思うが今後も丁寧な説明に努めていただきたい。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>								
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>								
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行								
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケアマネがしている支援の情報を確認している。 ・退院・退所前カンファレンスに参加し、情報共有できている。病院から相談があれば、事業所内でも検討し、円滑な在宅	・利用者がその有する能力に応じ、その居宅において自立した日常生活を営むことができるよう適切な移行支援が大切。 ・病院・施設との連携や在宅への移行が配慮できています。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		生活への移行ができるようにしている。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医との情報共有に努めてください。</li> <li>・すべての利用者についてできているのがベスト</li> <li>・利用者の健康状態を把握されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時の医療機関への連絡や搬送が決まっているならば、対応可能な体制ではないですか？</li> <li>・円滑な協力をえるため必要事項の取り決めも大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>具体的な状況・取組内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院されている利用者様には、様子を伺いに行き、状況を把握している。</li> <li>・ほとんどの利用者については、緊急時の対応が出来るようにしている。</li> <li>・緊急時の搬送先の把握。</li> </ul>					
		<p><u>具体的な状況・取組内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様のかかりつけ医師への連絡・対応をしている。</li> <li>・全ての利用者についてはできていないが、緊急時どこの病院へ搬送や連絡するのかという話はできている。</li> <li>・看護師へのオンコールが出来るようになってきている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な情報発信ということではどうですか。</li> <li>・毎回、詳細な資料をお示しください事業のことがよくわかります。有益な評価ができているか否か・・・申し訳なく思っています。</li> <li>・会議では理解しやすい資料で丁寧に説明いただき民生委員として参考になる情報が多かったです。連携を深めていきたいと思います。夏まつりには、地域の皆さんも楽しみにしています。</li> <li>・定期的に情報交換、連携が図られている。会議資料においてもサービス利用者個々の状況把握がよくできている。</li> <li>・地域との連携を考えた取り組みがされていてよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会等何らかの地元住民向けの啓発活動を考慮したら如何でしょうか。</li> <li>・事業所のホームページでも積極的な情報発信、更新が図られている。更新が多いほど、その事業所は魅力的です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りの最初に「ここではこんな対応をしており、相談・問い合わせにも気楽に来てください」と呼びかけたらいかがでしょうか。特徴を強調されたら良いと思います。</li> <li>・広報媒体を利用した発信はできているので、周りの住民にもっとサービス内容や取り組みを知ってもらいましょう。</li> <li>・広報誌等の作成配布がされていてよくできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		○			<p>・訪問看護ステーションとの関係はどうですか。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・訪問看護ステーションの利用者の訪問看護も実施している。</p> <p>・ステーションの利用者についてはよくわからない。</p>	<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		<p>・「たん吸引」は夜間でも必要な時があると思います。看護職でないとしようできないのでしょうか。</p> <p>・喀痰吸引等研修を修了した介護職員等は？ (H24.4～)</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・吸引機の設置ができている。</p> <p>・夜間に関しては体制が万全ではないが、看護師が対応できるようになっている。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よく</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
						・夜間帯では、看護職が不在のため、積極的に受け入れていない。	できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・受け入れる体制が整っていない。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	<p><u>【具体的な状況】</u></p> <p>・以前に数名の看取り支援を行っている。</p> <p>・現在ターミナル者はいない。</p>	<p>・看取り支援の体制は整っているということですね。積極的な受け入れはどうなっていますか。</p> <p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げ				○	<p>・地域に合ったシステムが必要で、実務で感じていらっしゃる</p>	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	ている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・全ての職員が理解しているかは、不明であるが、勉強会があり、みんなの意識づけになり、参加者は理解できた。				やることで、行政へもどんどん発言いただければと思います。 この地域も高齢化が急速に進んでおり、空家も増えています。地域内のつながりも薄れてきている状況で、どう介護につなげていくか、地域の問題でもあります。 ・行政からの情報発信不足も考えられます。 ・勉強会等に出席されているとのことです。	✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○			・特定の地域に限定することなくサービス提供が行えています。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている			○		<p>・安心して暮らせるまちづくり提案力、発信力 市関係者との関係あってこそだと思う。・今後ますます、ネットワークを活用した取り組みを期待します。</p> <p>・地域のサロンで講習するなど、行っています。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○			<p>・キャラバンメイトへの登録</p> <p>・介護についてのアドバイスをしています。</p> <p>・地域の人から本人へのサポートや情報を提供してくれている。</p> <p>・地域住民からのサポートともあり、独居でも在宅継続へとつながっているとともに働きかけも行っている。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族へは電話やメール等で随時かわりを促している。</li> <li>・ キャラバンメイトに一部職員は参加し、取り組んでいる。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 在宅維持が出来るように支援で来ていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画だけにとどまらず、目標達成できるよう、利用者の立場にたった支援を継続していきましょう。</li> <li>・ 利用者の満足度は高いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</li> </ul>
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下にお	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
	<p>いての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている</p>	<p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている  4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b>  ・医療的な処置や日常生活の相談等により、安心感が得られている。</p>		<p>必要な状況下においての、「在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>
44	<p>○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている</p>	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている  2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている  3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている  4. 利用者の1/3には満たない  5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b>  ・看取り指針は作成あり。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>